

## 盛岡市議会会派「絆の会」平成27年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【上下水道局関係】</p> <p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 随意契約を見なおし競争原理の導入を図りたい</li>   <li>・ 上下水道事業における老朽施設の計画的な更新を促進されたい。人口減少に対する施設の集約化を図られたい</li>   <li>・ 災害に対する対策を強化されたい。国土交通省や県と連携した洪水対策の強化や堤防の整備を促進や内水処理対策を示されたい</li> </ul>	<p>契約事務につきましては、競争原理の働く入札の方法を原則としておりますが、災害等時に伴う応急工事や小規模修繕工事など、法令に基づき随意契約の方法によることができる場合に限って随意契約としております。今後とも、引き続き、適正な契約事務の執行に努めてまいります。</p> <p style="text-align: center;">（上下水道部水道維持課，浄水課，水道建設課，下水道整備課，下水道施設管理課）</p> <p>水道管路の更新につきましては、現在、国庫補助を導入して老朽化した管の布設替えを計画的に進めているところであります。今後は、浄水場等を含めた施設につきまして、アセットマネジメントによる長期財政計画に基づき効率的かつ効果的な改築，更新及び維持管理等を実践する予定としております。また、将来の人口減少を見据えた施設の在り方については、100年先を見据えて「もりおか水道施設整備構想」を策定しており、浄水場の集約化を図ることとしています。</p> <p>老朽化した下水道施設につきましては、平成24年度に策定した「盛岡市下水道長寿命化計画」に基づき、国の長寿命化支援制度を活用し計画的な改築更新に努めているところであります。今年度から東安庭の中央監視制御棟設備更新に着手しており、平成27年度からは菜園・内丸地区の合流管の管更生及びポンプ場施設の劣化状況について詳細診断を行うこととしており、診断結果等を基に事業計画を進めて参ります。</p> <p style="text-align: center;">（上下水道部水道建設課，下水道整備課）</p> <p>災害の対策等につきましては、「盛岡市地域防災計画」や「盛岡市上下水道局災害対策マニュアル」に基づき、市長内部部局と連携を図り、迅速な応急給水及び応急災害復旧等の対応を行うこととしております。</p> <p>停電に伴う断水対策につきましては、高圧移動用電源車の配備，低圧移動用電源車の更新，上乙部ポンプ場の自家発電装置の整備などを進めてきており、今年度で整備を完了する予定としております。</p> <p>また、地震に係る断水対策につきましては、水道創設期（昭和9年）の水道管やビニル管等の耐震管への布設替えを実施しているほか、平成26年度から平成37年度までの計</p>

## 盛岡市議会会派「絆の会」平成27年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松川の安全対策を講じられたい</li> <li>・ 北上川河川敷の管理を徹底されたい</li> <li>・ 鉛管の交換を早期に実施されたい</li> </ul>	<p>画で、重要給水施設までの配水管の耐震化整備を進めております。</p> <p>このほか、浄水場間の水融通を可能とするための連絡管、滝沢市や岩手町などの近隣市町との連絡管の整備を進めております。</p> <p>下水道施設の地震対策につきましては、「盛岡市下水道総合地震対策計画」に基づき、管路施設等の地震対策を進めており、また、公共下水道事業における浸水等の内水処理対策につきましては、過去の浸水被害の状況や緊急性等に配慮しながら、計画された雨水幹線施設等の整備を進めて参りたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（上下水道部総務課，下水道整備課）</p> <p>（建設部河川課で回答）</p> <p>（建設部河川課で回答）</p> <p>鉛製の給水管につきましては、平成15年の水道法改正により水質基準が改正されたことに伴い、継続事業である経年管対策事業や能力増強事業等のほか、新たに鉛製給水管更新事業を実施し公道内から水道メーターまでの解消に努めてまいりました。また、所有者が自ら行う布設替えに対しても、その工事費の一部を助成してまいりました。</p> <p>公道内にある鉛管の布設替えを行う鉛製給水管更新事業におきましては一定の目途が立ったことから、今後は経年管更新事業により実施し、また、給水装置の所有者に対する助成制度の広報を充実させるなど引き続き鉛製給水管の解消に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（上下水道部給排水課）</p>